

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



町を越えて世代を越えて

老若男女が一致団結！

きれいな秋晴れの10月6日、岡山学区で運動会が行われました。コロナ禍を境に形式が変わり、「体育フェスティバル〜みんなでスポーツ'24」の名で今年も開催されました。岡山小学校伝統の6年生によるプラスバンドがオープニングを飾った後、幼児から大人まで4、5人のチームが、それぞれ好きな種目を選んで参加しました。玉入れや台風の目などおなじみの種目もあれば、スリッパ飛ばしやモルック、ボトルフリップチャレンジなど、どの年代でも楽しめるおもしろい種目もありました。

赤こんりポート

山田恵美リポーター



たいせつな故郷の味

丁字麩の食べ方いろいろ

古くから家庭や仏事で親しまれてきた四角く6面全体が焼かれた丁字麩。丁字麩というと、定番料理のからしあえがよく食べられますが、おいしい食べ方はいろいろ。今回は、丁字麩をフレンチトーストにして、間にでっち羊羹とアイスを挟んだスイーツを作ってみました。鍋や汁物だけではなく、砕いてフライの衣やハンバーグなどのつなぎにしたり、出汁をたっぷりしみ込ませて卵とじにしたり、そのまま半分に切ってアイスや具材を挟んだり、ラスクなどのスイーツにしたり。大切な特産品である丁字麩、皆さんはどの食べ方がお好みですか。

赤こんりポート

馬場利男リポーター



楽しみに待っていた

「ペットボトルロケット」を飛ばそう！

「ペットボトルロケットを飛ばそう」が9月28日、馬淵小学校のグラウンドで開催されました。このペットボトルロケットは、7月20日に八幡東中学校科学部の生徒さんの指導で、空のペットボトル4本と、はさみやカッターなどを使って組み立てられたものです。この日の参加者16人は、昨年の記録「80m越え」に挑戦。遠くに飛んだり、きりもみ状態で落ちるロケットを見て、喜んだり、残念がったり、いろいろな表情を見せていました。競技の結果、1位が71mを飛ばした6年生。続いて、2位は61m、3位は54mでした。児童たちは「来年はもっと遠くに飛ばしたい」と話していました。

赤こんりポート

東知樹リポーター



秋の夜に輝く芸術

9月21日、ヨシキリの池では「西の湖ヨシ灯り展」が行われました。ヨシを材料に作られた、さまざまな作品がライトアップされていたこの展示では、作品それぞれに個性がでていてどれも見応えがありました。特に、パリのエッフェル塔をモチーフに作られた作品は、巨大で圧倒されました。ライトアップされてすぐに行ったのですが、たくさんの人でいっぱいでもとにぎわっていました。また、風が吹いて涼しく、秋を体験しながらゆっくりと鑑賞することができました。

10月4日



0次予防センターの2階に

武佐診療所が開設されました

武佐学区は、過去3か所あった医療機関が医師の高齢化などにより相次いで閉鎖され、12年間医師が居ない状態が続いていました。このことから、0次予防センターの取り組みのさらなる充実と、地域住民の健康維持に必要な医療を提供するため、診療所が開設されました。開所式では、小西市長、辻市議会議長、林友定町自治会長によるテープカットが行われました。この日、最初に診療を受けた児玉章宏さんは「これまで他学区の診療所に通っていたので時間がかかり、交通手段にも困っていた。明るくきれいな診療所が近くにできて助かる」と喜びをかみしめていました。

10月10日



関係人口の創出、移住・定住の推進に向け

新しい地域おこし協力隊員が着任

樹脂成形メーカーで設計や商品企画のほか、パンフレットや商品ポップの作成を担当していた、京都府出身の西田悠真さん。過去に1年半ほど市内に在住した経験があり、「地域に恩返しをしたい」との思いで協力隊に応募しました。本市ではこれまでの経験を生かし、魅力発信や関係人口の創出、移住・定住の推進に向けて、市内の空き家をまとめたパンフレット作りなどに取り組みます。西田さんは「市内各地のイベントなどに参加し、交流を深めるとともに、デザインスキルを生かし、空き家を身近に感じられるパンフレット作りをしていきます」と抱負を話していました。

9月19日



ふるさと学習で和菓子の食体験

ふるさと学習の一環で、㈱たねやから提供された和菓子「きぬかつぎ」の味覚を、市内の公立小・中学校に通う児童・生徒と教師合わせて約7,500人が楽しみました。この取り組みは、同社の「お菓子を通じて、日本の伝統文化や和菓子の良さを感じてもらいたい」との思いから毎年、学校給食と連携して実施され、「水ようかん」、「かしわ餅」に続いて3年目になります。「きぬかつぎ」は、お月見で供える月見団子の一環で、十五夜が別名「芋名月」とも呼ばれることから、同社では月見団子を里芋の形に似せて仕上げています。児童らは「先生に和菓子の由来をきいた。小さくて丸くてかわいい」「初めて食べたけど、もちもちしておいしかった」と話していました。

10月1日



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と

地方創生に関する包括連携協定を締結

相互に連携・協力し、魅力ある地域社会の形成と発展、地方創生を実現するため、あいおいニッセイ同和損害保険㈱と「地方創生に関する包括連携協定」を締結しました。調印式で、同社滋賀支店長の平柳義人さんは「これまで全国500を超える自治体と協定を締結してきました。他市の事例では、自動車走行データを基に通学路の安全を可視化したマップを提供するなど、地域の交通安全に寄与しています。近江八幡市ではエコドライブに向けた取り組みなども考えていきたい」と締結に対する思いを話しました。